



# 田辺三菱製薬株式会社

## 2008年度 第1四半期決算概況

(2008年4月1日～2008年6月30日)

2008年7月30日

取締役 副社長執行役員  
下宿邦彦

# 2008年度 第1四半期 決算概況



田辺三菱製薬

	第1四半期		増減		2008上期 公表見込	進捗率
	2007年度	2008年度	億円	%		
売上高	1,049 億円	1,082 億円	+33 億円	+3.2 %	2,060 億円	52.5 %
売上原価	388	396	+7	+1.9	745	53.1
売上原価率	37.0%	36.6%			36.2%	
販管費	443	433	-10	-2.2	980	44.2
営業利益	218	254	+36	+16.5	335	75.8
経常利益	227	259	+32	+14.3	340	76.3
四半期(当期)純利益	129	146	+17	+13.3	150	97.7

2007年度は、旧田辺製薬と旧三菱ウェルファーマの単純合算ベース

2008上期公表見込：2008年5月7日決算発表時に公表した2008年度第2四半期累計期間予想値

# セグメント別売上高



田辺三菱製薬

	第1四半期		増減		2008上期 公表見込	進捗率
	2007年度	2008年度	億円	%		
売上高	億円	億円	億円	%	億円	%
	1,049	1,082	+33	+3.2	2,060	52.5
(うち海外売上)	(82)	(91)	(+9)	(+11.0)	(215)	(42.2)
医薬品事業	975	1,006	+32	+3.2	1,912	52.6
国内医療用医薬品	865	880	+14	+1.7	1,635	53.8
海外医療用医薬品	58	66	+8	+13.5	126	52.1
一般用医薬品	14	13	-1	-8.6	26	48.8
その他	38	48	+11	+28.2	126	38.5
その他事業	75	76	+2	+2.3	148	51.5

# 国内医療用医薬品 主要製品売上高



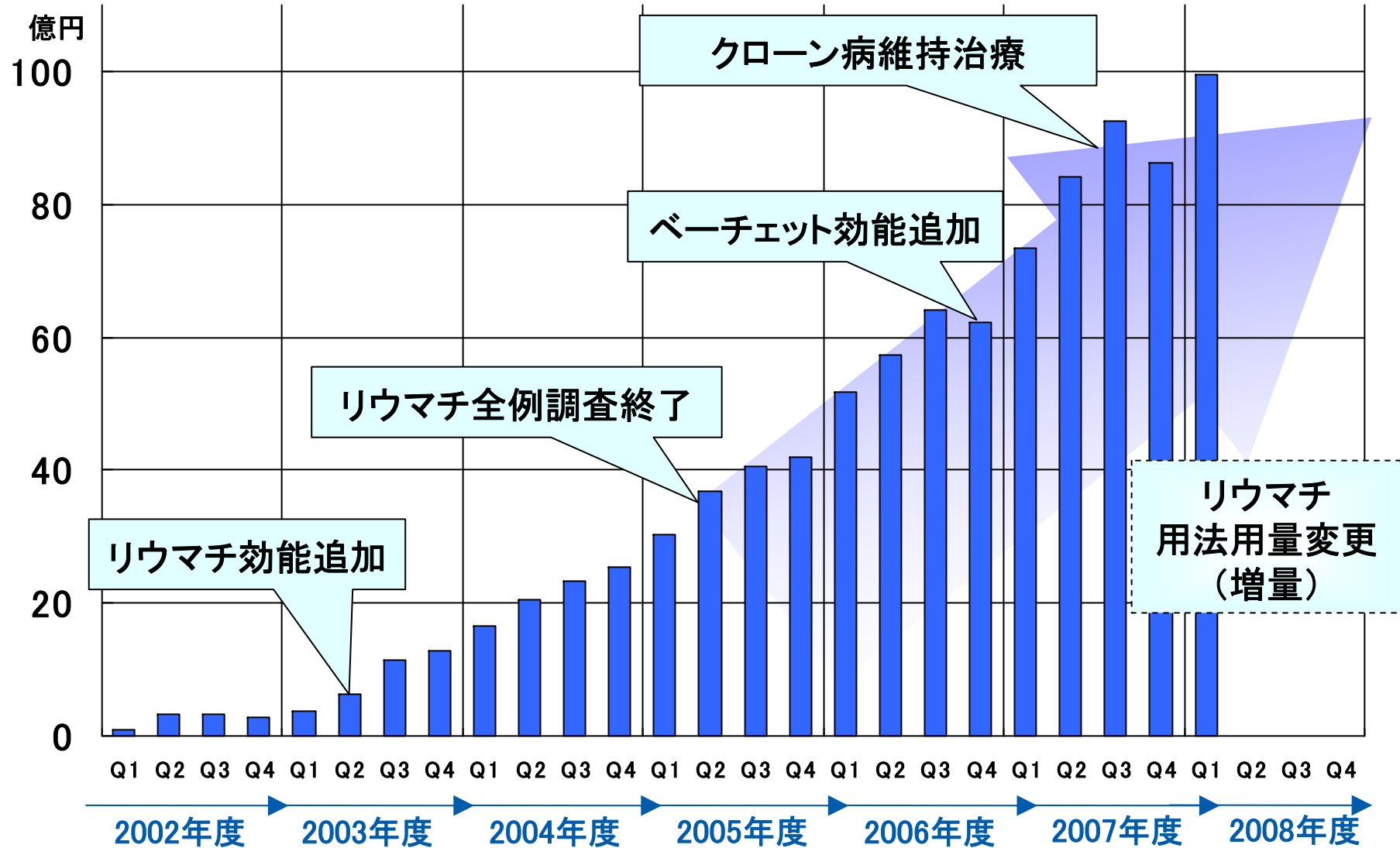
田辺三菱製薬

	第1四半期		増減		2008上期 公表見込	進捗率
	2007年度	2008年度	億円	%		
国内医療用医薬品	億円 865	億円 880	億円 +14	% +1.7	億円 1,635	% 53.8
レミケード	63	89	+26	+41.2	167	53.0
ラジカット	72	73	+1	+1.2	144	50.9
アンプラーグ	45	49	+4	+8.8	98	49.9
ウルソ	42	43	+1	+1.9	89	48.0
タナトリル	34	34	0	-1.2	64	53.4
タリオン	16	21	+4	+24.7	38	53.5
セレジスト	41	43	+3	+6.4	77	56.2
ヘルベッサー	36	33	-3	-9.1	61	54.2
ヴェノグロブリン-IH	32	29	-3	-8.5	60	48.8
デパス	29	31	+2	+6.2	61	50.9
ワクチン	40	54	+14	+34.8	65	84.1

# レミケード®の売上推移(薬価ベース)



田辺三菱製薬



# 売上原価・販管費



田辺三菱製薬

	第1四半期		増減		2008上期 公表見込	進捗率
	2007年度	2008年度	億円	%		
売上高	1,049	1,082	+33	+3.2	2,060	52.5
売上原価	388	396	+7	+1.9	745	53.1
売上原価率	37.0%	36.6%			36.2%	
販管費	443	433	-10	-2.2	980	44.2
研究開発費	178	163	-15	-8.4	395	41.2
人件費	135	126	-9	-6.8	250	50.2
のれん償却費	0	25	+25	-	50	50.3
販売促進費	27	23	-4	-13.7	74	31.4
その他	103	96	-7	-6.8	211	45.6
営業利益	218	254	+36	+16.5	335	75.8

# 営業外損益・特別損益



田辺三菱製薬

	第1四半期		増減		2008上期 公表見込	進捗率
	2007年度	2008年度	億円	%		
	億円	億円	億円	%	億円	%
営業利益	218	254	+36	+16.5	335	75.8
営業外損益	9	6	-4	-40.0	5	110.2
経常利益	227	259	+32	+14.3	340	76.3
特別利益	1	1	0	-	-	-
特別損失	2	7	+6	-	65	11.4
合併関連費用	1	-	-1			
特別退職金	1	-	-1			
構造改革費用	-	6	+6			
投資有価証券評価損	0	1	+1			
四半期(当期)純利益	129	146	+17	+13.3	150	97.7

# 開発パイプラインの進捗状況

2007年度決算発表時点(2008年5月7日)からの進展



- ◆ ノバスタン (アルガトロバン)  
抗トロンビン剤  
ヘパリン起因性血小板減少症(HIT) 効能追加 国内承認 (7月)
- ◆ セレジスト (タルチレリン水和物)  
脊髄小脳変性症治療剤 剤型追加 国内申請 (7月)
- ◆ モディオダール (モダフィニル)  
精神神経用剤  
閉塞性睡眠時無呼吸症候群 効能追加 国内申請 (5月)
- ◆ バリキサ (バルガンシクロビル)  
抗ウイルス剤  
移植後サイトメガロウイルス感染 効能追加 国内申請 (6月)



# 開発パイプラインの進捗状況

2007年度決算発表時点(2008年5月7日)からの進展



- ◆ パズクロス (メシル酸パズフロキサシン)  
ニューキノロン系合成抗菌製剤  
重症難治症例 用量追加  
敗血症、肺炎球菌 効能追加 国内フェーズ 3 (7月)
- ◆ CNT0148 (ゴリムマブ)  
抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体製剤  
関節リウマチ 国内フェーズ 2/3 (6月)
- ◆ MP-214  
D3/D2拮抗剤  
統合失調症 国内フェーズ 2 (5月)
- ◆ Y-39983  
ROCK阻害剤  
緑内障 国内フェーズ 2 (5月)

- ◆ 慢性腎不全患者に見られる二次性副甲状腺機能亢進症治療薬
- ◆ 副甲状腺ホルモンを強力に低下させると同時に、既存薬で問題となる高カルシウム血症を起こしにくいことが期待される、全く新しいタイプのビタミンD誘導体（北米 フェーズ 2 準備中）
- ◆ 米国および日本を含むアジアにおける独占的開発・販売権
- ◆ 契約金・一時金支払いおよび優先株式の取得（総額105百万カナダドル）

## ※サイトクローマ社について

- カナダ・トロント郊外に本社を置くバイオベンチャーで従業員は約40名
- 慢性腎不全治療薬の創薬に特化し、CTA018及びCTAP201を二次性副甲状腺機能亢進症治療薬、CTAP101をビタミンD欠乏症治療薬として開発中

中期経営計画 2015年度目標

## 米国自販体制の確立と 海外医薬品売上高1000億円以上達成への取り組み

### ◆ 米国における腎領域パイプラインの拡充

- 北米において腎領域での開発を進めている高リン血症血症治療薬MCI-196および慢性腎臓病治療薬MP-146(いずれもフェーズⅢ)に続く第3のパイプライン

### ◆ 米国事業基盤確立に向けた強化策

- 米国での腎不全治療薬の研究・開発・販売において幅広い経験と実績のあるサイトクローマ社経営陣のノウハウ活用

# 08-10中期重点課題の取組み状況



## ◆ 国内営業のプレゼンス向上

- 営業 1ライン化 .....4月
- 「メドウェイ注」新発売 .....5月
- 「グルコバイ錠」共同販売 .....9月～

## ◆ ジェネリック医薬品事業の推進

- 長生堂製薬との資本業務提携基本合意 .....5月
- ジェネリック医薬品 9成分15品目を新発売 ..7月

## ◆ 効率的な組織・コスト構造の構築

- 生産子会社統合 .....10月
- 早期退職募集開始 .....7月

## 注意事項

本資料に記載した一切の記述内容は、現時点での入手可能な情報に基づき、当社が一部主観的前提をおいて合理的に判断したものであり、将来の結果はさまざまな要素により大きく異なる可能性がありますので、ご了承ください。